

カザフスタン・エナジーウィーク：日本・カザフスタン石油・ガス産業協力特別セッション
「IIoT分野における協力の可能性」の開催及び関連する展示事業
実施報告書

2019年9月
(一社)ロシアNIS貿易会

(1)特別セッションのテーマと目的

カザフスタンにおいては2017年12月に発表された国家プログラム『デジタル・カザフスタン』のもとで、デジタル技術の利用による経済発展と国民生活の質的向上の促進を目指す取り組みが進められている。資源依存体質の強い同国において、デジタル技術の導入を図るべき産業の最も現実的選択肢は、石油・ガス産業となる。

一方、低油価時代を迎えた石油・ガス産業においては、その抱える様々な課題、すなわち事業採算性の確保・向上、資源利用効率の最適化、また環境保護対策等の有効なソリューションとして、IoT技術の活用が期待されている。

こうした背景に鑑み、本セッションでは石油・ガス資源保有国であるカザフスタンと、IoT分野において一定の強みを持つ日本との間で、石油・ガスを対象としたIIoT分野における協力推進、新たなビジネス創出の可能性について、双方の官民を含むビジネス関係者・専門家が議論した。IIoT分野における日本の新技術を包括的に現地の官民の専門家・関係者に紹介、その優位性をアピールするとともに、現地における「日本」のプレゼンス拡大を図った。

(2)特別セッション実施概要

- ◆日時： 2019年9月26日(木) 16:40-18:00
- ◆場所： カザフスタン共和国 ヌルスルタン市 EXPO コングレスセンター サフィ・ウテバエフホール
- ◆主催： 一般社団法人ロシア NIS 貿易会(ROTOBO)、法人連合「カザフスタン石油・ガス・電力コンプレクス組織協会『カズエナジー』」
- ◆言語： 日本語及びロシア語(同時通訳)

◆プログラム:

時間	プログラム
16:40-16:50	モデレータ開会挨拶： 日本側 輪島実樹 (一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 部長 カザフ側 サブル・エシムベコフ アルメクス・ホールディング取締役会副会長/カザフスタン日本経済委員会会長 来賓挨拶： カイラト・バリクバエフ KAZENERGY デジタル化担当顧問
16:50-17:00	「産業用ドローンが可能とする従来業務の自動化と効率化(石油ガス・電力・鉱山業界)」 永井 悠平 テラドローン株式会社 グローバル・ビジネス部 東欧・中央アジア統括
17:00-17:10	「デジタルトランスフォーメーション～横河電機の取り組みとソリューション事例」 佐々木 耕 横河電機株式会社 GSIMK MA & ダウンストリーム・ケミカル部 ダウンストリームセールスリーダー
17:10-17:20	チムール・タザベコフ KMG International IT 担当部長
17:20-17:30	「AIを使ったプラントデータ解析 ー日揮最近のプロジェクトー」 大野 拓也 日揮株式会社 プロセステクノロジー本部 技術イノベーションセンター 技術理事
17:30-17:40	「持続可能な未来のための廃棄物の燃料転換」 近藤 浩太 丸紅アメリカ会社 エナジーユニット シニアマネージャー、ビジネス開発ディレクター
17:40-17:50	「KMG ダウンストリームにおけるデジタル化」 マリヤム・イギセノヴァ KazMunayGas 精製・マーケティング部門 統合計画システム部長
17:50-17:55	「AI 技術を使った異常検知・故障予測ソリューション」 河田 寛 NEC NEVA Communications Systems 社長
17:55-18:00	質疑応答、閉会



セミナーの様子



展示ブース

(3) 展示

特別セッションで報告する企業の擁する技術を中心に、付属的に日本のエネルギー・環境関連政策に関するパネル展示を加えて、カザフスタン・エナジーウィーク枠内で実施される展示会(期間:9月24日(火)~9月27日(金))に参加した。

以上